

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 大阪府大阪市
 本事業の担当部局名 大阪市住吉区役所保健こども家庭課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	3.1.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
個別事業名	もうすぐパパママ応援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続					
実施期間	令和8年4月1日	~	令和9年3月31日	事業開始年度	令和5年度			
総事業費(A)(円)	3,150,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	3,150,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,109,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	41,000	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	41,000	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	3,109,000	0	0	0	3,150,000		
	対象経費支出予定額	3,109,000	0	0	0	3,109,000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	41,000		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 出産や子育て期にあたる女性の労働力率が高い国は、出生率が高い傾向が国際的見地より、みられることから、女性が働き続ける社会の実現は、自分に合ったライフスタイルの実現はもとより、少子化の改善につながっていく。仕事や子育てをはじめとする生活が共に自分らしく豊かに過ごすことができるよう、仕事と生活の調和の実現に向け、行政と地域が連携して社会全体で取り組んでいく。</p> <p><本個別事業の位置付け> 令和7年4月からの市町村こども計画「大阪市こども計画」に基づき、住吉区においても、安心してこどもを生み、育てることができるよう、妊娠期から子育て期にわたる多職種による切れ目のない支援の充実を図るため、初めて出産を迎える家庭に対し、アウトリーチによる相談支援ならびに父親を対象にした講座を実施し、夫婦がともに協力して子育てできるよう支援する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	もうすぐパパママ応援事業	(1)妊娠5か月頃の初めて出産を迎える家庭への、保健師等による電話でのアウトリーチによる相談支援 対象者 400人/年 (2)初めて父親になる男性を対象にした「はじめてのばばこうざ」の開催 対象者 30人/回 年6回 (3)「ばばこうざ」参加者を対象にした「ばばこうざ同窓会」の開催 対象者 15人/回 年2回 (4)広報周知 ・初産婦に対して母子健康手帳交付時面接やアウトリーチ(電話訪問)で個別に案内、LINEなどのSNSや区のホームページ、区広報誌 ・地域関係機関や住民と関わるあらゆる機会を捉えて当事業を広く周知することで、夫婦とその家族、ひいては地域全体で子育てを応援する機運醸成を図る					
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 「ばばこうざ」の参加者からは、出産後も父親を対象にした子育て教室を実施してほしいとの声がある。また、講座は単発での実施のため、父親とおしの交流につながりにくい。そのため、令和6年度より新たに「ばばこうざ」参加者を対象に「ばばこうざ同窓会(はじめてのパパとのお出かけ)」を1回開催し、参加の機会を増やすため、令和7年度より開催回数を年2回とする。								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	「はくあっぷ推進事業」における教室参加者へのアンケートで、育児に対し肯定的に捉えることができる、育児不安が軽減されたと回答した参加者の割合		%	100 (R8年度)	96.0 (R6年度)
	プレババ・ママ等ファミリー子育て教室実施後のアンケートで、育児に対する認識が向上したと回答する参加者の割合		%	90 (R8年度)	—
	プレババ・ママ等ファミリー子育て教室実施後のアンケートで、協力して育児をする意識が高まったと回答する参加者の割合		%	90 (R8年度)	—
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.16 (R2年)	
	婚姻件数		件	15,735 (R3年)	
	婚姻率			5.7 (R3年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ばば講座への参加目標人数	人	180 (R8年度)	96 (R8.1)
	②	ばば講座同窓会への参加目標人数	人	30 (R8年度)	24 (R8.1)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100 (R8年度)	100 (R6年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100 (R8年度)	100 (R6年度)
	④	ばば講座参加者の育児参加意識の向上	%	100 (R8年度)	96.0 (R6年度)
	⑤	ばば講座同窓会参加者の育児参加意識の向上	%	100 (R8年度)	100 (R6年度)
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 大阪府大阪市
 本事業の担当部署名 大阪市淀川区役所保健福祉課(健康相談)

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	3.1.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名	淀川区プレパパ・ママ等ファミリー子育て教室					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和8年4月1日		～ 令和9年3月31日		事業開始年度	令和2年度	
総事業費(A)(円)	2,915,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	2,915,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	2,915,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	2,318,400	0	547,600	49,000
	対象経費支出予定額	0	0	2,318,400	0	547,600	49,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	0	0	0	0		2,915,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	0		2,915,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 出産や子育て期にあたる女性の労働力率が高い国は、出生率が高い傾向が国際的見地より、みられることから、女性が働き続ける社会の実現は、自分に合ったライフスタイルの実現はもとより、少子化の改善につながっていく。仕事や子育てをはじめとする生活が共に自分らしく豊かに過ごすことができるよう、仕事と生活の調和の実現に向け、行政と地域が連携して社会全体で取り組んでいく。</p> <p><本個別事業の位置付け> 将来の社会を築く子どもを心身ともに健やかに産み育てる家庭環境づくりの支援、家族等の育児への参加啓発を図り、地域への働きかけを通じて孤立しやすい初産婦の子育てを地域全体で応援する機運を醸成する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	淀川区プレパパ・ママ等ファミリー子育て教室の開催	<p>○淀川区プレパパ・ママ等ファミリー子育て教室(年8回) ・参加予定者数(定員):320人(40人×8回) ・内容:沐浴・調乳・抱き方・おむつ交換・着替え等の育児手技体験、リアルケアベビーを用いた啼泣時の対応体験、妊婦疑似体験、育児物品の展示、子育てに関する情報提供 等 ・対象者:初産婦と夫および家族 ○広報周知 ・チラシ配布(1500枚)、区ホームページ、広報誌 ・地域関係機関や住民と関わるあらゆる機会を捉えて当事業を広く周知することで、夫婦とその家族、ひいては地域全体で子育てを応援する機運醸成を図る</p>				
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 課題:リアルケアベビーによる啼泣時の対応体験の満足度が低かった。 分析:備品・人員不足により待ち時間が発生したことが要因と考えられる。取組:人員増およびリアルケアベビーの追加購入を検討する。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	「はくあっぷ推進事業」における教室参加者へのアンケートで、育児に対し肯定的に捉えることができる、育児不安が軽減されたと回答した参加者の割合		%	100 (R8年度)	96.0 (R6年度)
	プレパパ・ママ等ファミリー子育て教室実施後のアンケートで、育児に対する認識が向上したと回答する参加者の割合		%	90 (R8年度)	—
	プレパパ・ママ等ファミリー子育て教室実施後のアンケートで、協力して育児をする意識が高まったと回答する参加者の割合		%	90 (R8年度)	—
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.16 (R2年)	
	婚姻件数		件	15,735 (R3年)	
	婚姻率			5.7 (R3年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	淀川区プレパパ・ママ等ファミリー子育て教室の参加目標人数	人	256 (R8年度)	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	—
	④	同教室実施後のアンケートで、育児に対する認識が向上したと回答する参加者の割合	%	90 (R8年度)	—
⑤	同教室実施後のアンケートで、協力して育児をする意識が高まったと回答する参加者の割合	%	90 (R8年度)	—	
⑥					
⑦					
⑧					